

一般社団法人京都府訪問看護ステーション協議会

## 平成 30 年度専門コース 在宅緩和ケア研修 報告

日時 平成 30 年 11 月 17 日(土)13:30~16:00

場所 京都府立医科大学医学部看護学科  
看護学舎実習室

講師 株式会社在宅緩和ケアオフィス架け橋  
緩和ケア訪問看護ステーション架け橋  
管理者・緩和ケア認定看護師 濱戸 真都里 氏

参加者 46名



### 目的

在宅緩和ケアを必要とする利用者に対し、症状緩和や対話の機会として取り入れたい。

「看護師の手遣いを駆使したマッサージ」の実技演習を含めた研修を行うことで、日々の実践に繋がれるようにする。

### プログラム

13:30~13:45

#### オブジーボについて

説明とミニレクチャー

小野薬品工業株式会社

13:45~16:00

#### 在宅緩和ケア研修

講義と演習

### 研修の実際

今年度は、京都府医科大学医学部看護学科の教室をお借りして、例年大好評の在宅緩和ケア研修会が開催されました。

まずは、小野薬品の担当者様よりオブジーボの薬剤説明があり、がんの治療薬として目覚しい効果が上がっている事、そして薬剤使用時の観察ポイント等を知ることができました。まだまだ高価なお薬ではありますが、当初の4分の1までお値段は下がっているとのこと。



次に、濱戸先生による講義および演習が行われました。浮腫の事例の画像を見ながら説明していただき、後に二人1組となりビデオを見ながら手技を学びました。

浮腫の部位を確認し、開始する場所、流す方向、皮膚のずらし方、回数、強さなど丁寧に教わりました。

音響に不備があり、小さな音の提供となってしまいましたが、みなさん「聞き漏らすまい」と話し声ひとつない真剣な姿に感動しました。



次に、呼吸が苦しい方へのマッサージですが、胸郭をひろげて、呼吸筋をほぐすようにマッサージすることで楽になるということ学びました。

またホットパックにより、リラックスできること、癒しになること、排便を促す腸蠕動を促すよい効果を体感できました。

#### 受講者アンケートより(抜粋)

- ・具体的な手技について、十分ではないが学べたと思うので、訪問時に利用者様に提供したいと思う。
- ・ステーションでもお互いにやってみて、どんどん利用者様のところで活用していこうと思う。
- ・すぐにでも利用者さんにしてあげられることを実践していきたいと思う。非ガンの利用者様にも、リラックスや癒しという面では生かされることもあると思った。

- ・癌末期の方が多く、下肢の浮腫に対し今までなんとなくマッサージしていたものがこの研修で自信をもって出来ると思う。
- ・限られた時間の中で、少しでも気持ち良く過ごしていただけるよう活かしていけたらと思う。
- ・緩和ケア時にまた日常に取り入れていきたいと思った。楽しかった。

単位：人

| 質問内容               | 非常に良い | ⇔ | 普通 | ⇔ | 非常に悪い | 合計                 |
|--------------------|-------|---|----|---|-------|--------------------|
|                    | 5     | 4 | 3  | 2 | 1     |                    |
| 研修は満足のもの了吗？        | 36    | 8 | 2  | 0 | 0     | 46<br>*回答率<br>100% |
| 講義は今役に立つ内容了吗？      | 41    | 4 | 1  | 0 | 0     |                    |
| 講義資料は分かりやすかったですか？  | 33    | 9 | 4  | 0 | 0     |                    |
| 講師の説明は分かりやすかったですか？ | 38    | 7 | 1  | 0 | 0     |                    |
| 講義時間は適切了吗？         | 35    | 8 | 3  | 0 | 0     |                    |

協力：研修委員会 取材：広報委員会

